

西洋古典籍の書誌学的研究成果と図書館総合目録への反映

— 現状と課題について —

How to improve General Catalogues in relation to new research results of the Descriptive Bibliography

— Current status and issues —

松波 京子

Kyoko MATSUNAMI

はじめに

日本の大学図書館等で、国立情報学研究所の目録所在情報サービスを利用している大学図書館等は、図書等を収蔵した際に NACSIS-CAT（国立情報学研究所が提供する大学図書館等の総合目録・所在情報データベース）に書誌を登録している。このサービスでは主に国内外で発行される刊行物を逐次データベースに登録していく性質上、現代において発刊される著作物（いわゆる“現代本”など）をその主な登録対象として目録作成のマニュアルが定められている。しかし、いわゆる西洋古典籍（各大学図書館等で古典籍として取り扱う範囲は異なるが、名古屋大学の場合、西洋古典籍はおおよそ 18 世紀以前に刊行されたもの¹（和漢古典籍は江戸期以前に刊行されたもの）が“貴重書（もしくは準貴重書）”扱いの対象となる）を NACSIS-CAT に登録する際には、現代本とは少々異なる目録規則に従って書誌を作成する場合がある。これは現代本と西洋古典籍の作成過程が異なるためである。西洋古典籍はその印刷・製本の歴史的背景から、例えば同じ標題紙であっても本文に差異がある著作が多々ある。西洋古典籍の書誌記述においてはこの差異が示されていることが非常に重要なのである。なぜなら、それらの差異を詳細に検討することによって、著者の思索の変遷や、当時の思想的な背景を反映した出版状況等が解明されることがあるからである。ただし、西洋古典籍の書誌を作成することは容易ではない。第 1 章で詳しく述べるが、例えば高野『洋書の話』（2014 年）²を精読したとしても、それだけで目録が作成できる訳ではない。さらに、西洋古典籍の書誌学的研究は現在でも展開しているが、その研究成果が適宜 NACSIS-CAT の書誌更新に繋がっているとは言い難いのもまた現実である。これは各館の西洋古典籍書誌作成方法の問題というよりは、研究成果が西洋古典籍目録整備を担当する部署に届いていないという問題が背景にあると考えられる。

¹ 「名古屋大学附属図書館貴重図書・準貴重図書取り扱い基準」により、西洋古典籍は原則として 1820 年発刊以前が貴重書指定対象となっている。ただし、当館で NACSIS-CAT に記述対象資料毎に書誌を作成するのは、『目録情報の基準』および「名古屋大学附属図書館西洋古典籍整理規定」により、1800 年以前の刊本や写本が対象である。

² 高野彰『洋書の話』第 2 版、朗文堂、2014 年。

そこで本稿では、書誌学的研究成果を NACSIS-CAT に登録されている書誌に現在どこまで反映させることが可能かという観点から、名古屋大学附属図書館における西洋古典籍書誌目録作成方法の紹介を通じて、現状と課題を示すことを目的とする。従って第1章は、名古屋大学附属図書館における西洋古典籍目録作成方法及び目録作成の現状を紹介し、第2章は書誌学的研究成果を現状においてどこまで目録に反映できるかを名古屋大学附属図書館が実際に経験した事例から紹介する。最後に今後の課題として、書誌学の研究者と西洋古典籍を収蔵している図書館等への提言を示したい。

1. 名古屋大学附属図書館における西洋古典籍目録作成方法の現状

1.1. 名古屋大学附属図書館における西洋古典籍目録作成方法

はじめにでも述べたように、日本の大学図書館等で国立情報学研究所の目録所在情報サービスを利用している大学図書館等が図書等を新たに収蔵する場合、目録規則に関連する基本的な規則、

- ①『目録情報の基準 第4版』学術情報センター、1999年
- ②『英米目録規則 第2版 日本語版』日本図書館協会、1982年、(AACR2と略される)
- ③『目録システムコーディングマニュアル』国立情報学研究所、(CMと略される)³

を基に書誌が作成されるが、西洋古典籍の場合は主に AACR2 第1部第2章「初期刊本」に基づいて目録の作成をすることとなる。名古屋大学附属図書館の場合、上記①～③の規則に加え、以下の規則も参考としている⁴。

- ④岡崎義富訳『稀観書の書誌記述』一橋大学社会科学古典資料センター、Study series, no. 11 (Library of Congress, *Bibliographic description of rare books*, 1981の翻訳にあたる)、1986年
- ⑤ Library of Congress, *Descriptive cataloging of rare materials (books)*, 2007 (3rd printing with corrections, 2011を使用、DCRM (B)と略される)
- ⑥高野彰『洋書の話』第2版、朗文堂、2014年

西川 (2015年)⁵では、英米が中心となって作成された AACR2 制定以降「小規模な古典籍コ

³ 現在は国立情報学研究所のホームページ上で公開されている (<http://catdoc.nii.ac.jp/MAN2/CM/mokuji.html>)。

⁴ 拙稿で名古屋大学附属図書館において西洋古典籍の書誌作成を実際にどのように行っているかを解説している。松波京子「西洋古典籍書誌調査の一事例 - 現物で分かること、デジタル・アーカイブで分かること -」、『名古屋大学附属図書館研究開発室年報』第14号、2017年、1-11頁。

⁵ 西川 和「英米における西洋古典籍の総合目録の作成規則の変遷とその理由」、*Library and information science*, No. 74, 2015, pp. 31-60.

レクションしかない場合は AACR2 を、大規模な古典籍コレクションを持つならば DCRB⁶ を用いるようにという使い分けが求められるようになった」経緯が描かれている。名古屋大学附属図書館は現在、西洋古典籍（貴重書と分類される著作等）を約 1 万点以上所蔵しており、西洋古典籍の目録作成においては DCRM(B) も参考とすることから、西川が示すこの流れを汲むものと考えられるが、西洋古典籍目録作成を担当している図書情報係に確認したものの、その経緯は明らかではなかった。名古屋大学附属図書館が西洋古典籍として目録作成が必要になった大規模な西洋古典籍コレクションはホップズ・コレクション I・II であり、1979-80 年にかけて所蔵された。これらの時期と AACR2 が 1978 年に、BDRB が 1981 年に作成されていることが重なっていたこと、最終的に水田洋名誉教授（名古屋大学）の膨大なコレクションである「水田文庫」を 2009 年度末に名古屋大学附属図書館で所蔵し、2000 冊を超える西洋古典籍の目録作成をきっかけにこれらの規則を基礎として目録作成の際に参照することが方針として定められたのである。

しかしながら、上記①～⑥の規則だけでも西洋古典籍の書誌は作成できない。その都度担当者で検討し、2000 冊以上の水田文庫の書誌作成を行った成果が以下の規定等である。

・「名古屋大学附属図書館西洋古典籍整理規定」

・「注記集 西洋古典籍」

・「参考資料集 西洋古典籍」

※ただし、上記 3 点は一般には公開していない。

これらの規定等は、異動してきたばかりの担当者でも一定のレベルの目録が作成できることを目指したものであり、特に注記集は注記に掲載すべき事例やその表記法を収録している。参考資料集は欧米各国総合目録や匿名辞典等の情報を列記している。これらの規定等は以前より他大学図書館等の担当者などから公開してほしいとの要請が度々届いているが、内容の性質上、常に情報のアップデートを行わなければならないため、現状では非公開となっている。

なお、2020 年度より導入される CAT2020 により NACSIS-CAT が再構築されるが、筆者が調査した限りでは、西洋古典籍の目録作成については原則的な変更点はなく、従って西洋古典籍目録の作成方法は当分の間従来どおりであるので、上記に述べた規則等もしばらくは有効であると考えられる。ただし、世界的な総合目録の流れとしては、RDA (Resource Description and Access) を準拠する方向となっており、“資料情報を現物のまま登録”することが基本となりつつあるので、日本における西洋古典籍の目録についてもこの流れに沿った変更がありうるかもしれないことを示しておく。

⁶ Bibliographic Description of Rare Books (BDRB), 1981. DCRM(B) の 2 版前の規則。

1.2. 名古屋大学附属図書館における西洋古典籍目録作成方法の現状

名古屋大学附属図書館において西洋古典籍目録作成の担当は図書情報係である。2020年1月現在、係長と非常勤職員2名がその業務を担っているが、西洋古典籍の収蔵は頻繁にあるわけではないので、収蔵があった際にこの3名が書誌を作成している。また研究開発室で西洋古典籍に関する業務を主に担当している研究員である筆者も西洋古典籍の書誌作成に関与している。基本的な作業としては、図書情報係が作成した書誌を研究開発室でチェックし、修正事項⁷や登録したほうが良いと考えられる書誌情報について図書情報係に情報をフィードバックし、図書情報係でその内容を精査しNACSIS-CATへ書誌を登録するという流れである。1年間で作成・修正している西洋古典籍目録数は2016年以降、年間おおよそ10-20点前後で、購入資料と寄贈本が中心である。最後に、1.1.でも触れたように、西洋古典籍の場合は『目録情報の基準 第4版』4.2.3「図書書誌レコードの作成単位」及びAACR2第I部第2章「初期刊本」に基づき、1点につき1点の目録の作成をすることが重要である。この方針は水田文庫、永井文庫収蔵時の目録作成の際に、西洋古典籍の資料毎目録の重要性を鑑みて、“稀観書につき記述対象資料毎に書誌レコード作成”を注記に明記し、資料毎書誌レコード作成を行ったことにより、それ以降実施されている。今後もこの方針は継続される⁸。

2. 書誌学的研究成果は現状においてどこまで目録に反映できるか

では実際に、名古屋大学附属図書館での事例紹介をしたい。名古屋大学附属図書館は、Rousseau, Jean Jacques, *Émile, ou de l'éducation* (1762) を2014年度に1点(資料ID: 41594600-1)、2015年度に1点(資料ID:41611960-3)を購入した。2014年度に所蔵した刊本は、古書店目録では「海賊版 (pirate edition)」と紹介されており、名古屋大学附属図書館 OPAC でも注記に「pirate edition」と記載されていた。2015年度に所蔵した *Émile* は2014年度に所蔵した刊本とは標題紙が異なっていた。2015年度に所蔵した刊本の書誌を作成する過程で、2014年度所蔵本も1762年刊行であることから初版の可能性あることに気づき、この2点の刊本が *Émile* のいずれの版であるのかを確定する必要に迫られた。この2点の版確定についての詳細は坂倉裕治(2018)「ルソー『エミール』の初版本認定指標」⁹及び、坂倉裕治、隠岐さや香、松波京子(2018)「名古屋大学所蔵『エミール』パリ版初版本について」¹⁰を参考にしていきたい。

⁷ 折り記号 (Signatures) に関しては研究開発室が作成している。折り記号はAACR2第I部第2章「初期刊本」2.18D.にて「図書の折り記号 (signature) と丁づけの詳細を示す注記をおこなう。」とあるが、折り記号の作成はかなりの時間や調査を要するため、研究開発室で担当している。なお、この図書情報係と研究開発室の体制は図書館予算の関係で2019年度をもって終了する。

⁸ 以前作成された書誌レコードは書誌共有されているものも多くあり、暫時修正している。

⁹ 坂倉裕治 (2018) 「ルソー『エミール』の初版本認定指標」、『名古屋大学附属図書館研究開発室年報』第15号、2018年、1-11頁。

¹⁰ 坂倉裕治、隠岐さや香、松波京子 (2018) 「名古屋大学所蔵『エミール』パリ版初版本について」、『名古屋大学附属図書館研究開発室年報』第15号、2018年、13-17頁。

坂倉（2018）によれば、『エミール』の初版本は、2系統3種類で、＜デュシェーヌ書店によって印刷＞された①パリ版8折本、②パリ版12折本及び、＜ネオーム書店によって印刷＞された③アムステルダム版が存在する。結果的に、2015年所蔵本が②パリ版12折本で、2014年所蔵本が③アムステルダム版であった。

次に、これらの調査結果をNACSIS-CATにどこまで反映したのかを紹介する。図1及び図2が2015年所蔵本（パリ版12折本）である。図3が名古屋大学附属図書館OPACで実際に閲覧できる書誌である。この刊本の最大の特徴は、①第1巻の書き込み、②第4巻最後のV折丁がないことである。これらの情報は、注記に明記されることとなった。図4が2014年所蔵本（アムステルダム版）である。図5が名古屋大学附属図書館OPACで閲覧できる書誌である。先にも触れたとおり以前の本書誌は「pirate edition」と注記に記載されていたが、調査結果からその注記を削除することができ、また注記に「References: McEachern, Jo-Ann E. Rousseau, v. 2, 1B (p. [82]-86)」と参考書誌情報を掲載することができた。

3. さいごに：今後の課題

3.1. 西洋古典籍の目録作成担当者の育成が難しい現状

昨今、運営費交付金の減額措置により大学図書館への予算配分が減少しているため、多大な労力を必要とする西洋古典籍目録作成に割ける人員と予算が不足している、もしくは確保できないというのが現状である。ほとんどの大学図書館等が西洋古典籍の詳細な書誌を作成できる状況ではない。名古屋大学附属図書館では様々な努力をして現状を維持しているが、ますます厳しくなる財政状況によっては、名古屋大学附属図書館でさえも詳細な書誌の作成は不可能となるのであろうか。

3.2. 西洋古典籍の詳細な個別書誌の必要性

しかし、西洋古典籍を利用した研究において、詳細な書誌情報は必要不可欠である。最近では歴史的な背景を意識した視点の導入が多分野に渡って進められており、思想史研究におけるコンテキスト研究や記述書誌学においてもそのような研究が見られる。西洋古典籍において歴史的背景を探るということは、同じ標題でも異なる箇所がある版本の場合はその刊行順を確定したり、差し替え紙葉等により訂正箇所がある場合は、その訂正がいずれの時期においてなされたのかを検討したりするということである。これらの情報はそれぞれの刊本から収集することとなるが、そのためには西洋古典籍の詳細な書誌情報が総合目録に登録されている必要がある。

また21世紀に入り、Google Booksに代表されるデジタル資料のアーカイブがモノクロ画像のみならずカラー画像として大量にネット上に存在し、その利用が急速に進んでいる。つまり、海外の図書館へ赴いて原本を閲覧しなくても自宅のパソコンで海外に存在する刊本を確認できるということであるが、その反面、詳細な書誌とともに画像が公開されているケースは少ない。

これは、ネットで検索できるメタデータとして書誌情報が登録されていないということであり、結局は利用者や研究者が1点1点の刊本を丁寧に確認しなければならないということである。近い将来にキーワードから画像が直接検出できることが可能になれば問題は解決するが、近々それが実現する見込みは薄い。となれば、西洋古典籍を所蔵した際の書誌作成段階でできる限り詳細な書誌を作成し、その古典籍の画像データを公開する機会が訪れた時に詳細な書誌と共に公開するということが重要となる。

3.3 西洋古典籍の目録を充実させるために

以上、西洋古典籍の特性からすれば、『目録情報の基準 第4版』4.2.3「図書書誌レコードの作成単位」及びAACR2第I部第2章「初期刊本」に基づく資料毎の書誌情報が極めて重要であることを指摘した。しかしながら、3.1.で触れたように大学図書館等における財政状況は極めて厳しく、そもそも西洋古典籍の資料毎書誌が作成できず他館が作成した書誌を共有していることが多い。では今後、このような限られた状況下でいずれの大学図書館等においても充実した西洋古典籍の書誌を作成するにはどのような方法が検討されるであろうか。

第1に、研究者が書誌学的な研究成果を得た場合、その刊本を所蔵する大学図書館等に新しい書誌情報を提供することが望まれる。研究者が論文等で書誌学的な調査研究結果を公開した場合、それをできる限り早い段階で総合目録に反映させることができれば最新の書誌情報を広く一般に活用できることとなる。しかし、大学図書館等の西洋古典籍の目録作成担当者がそのような情報に常に触れている訳ではない。となれば、その調査研究成果を出した研究者自身はその情報を適切な部署へ提供することが、充実した西洋古典籍の書誌を作成する際には重要な働きかけとなると考える。

第2に、大学図書館等ができる範囲で西洋古典籍の目録管理・維持業務を行うことが望まれる。『目録情報の基準 第4版』4.2.3「図書書誌レコードの作成単位」及びAACR2第I部第2章「初期刊本」に基づき、西洋古典籍1点につき1点の目録の作成をすることが重要ではあるが、実際にそれを実行できる大学図書館等は少ない。それでも、大学図書館等ができることは少なからずあるはずである。例えば、書誌の版本確定に有用な half-title page（略標題紙。標題紙（title-page）の前などに挿入されている簡易標題の紙葉）や、errata（正誤表。1紙葉で作成されたり、目次、本文、最終ページ等で文章が終わった余白の部分に印刷されたりしている場合がある）などは、西洋古典籍の目録作成に慣れていない担当者でも所蔵資料を丹念に閲覧すれば確認できる。このような情報はぜひ書誌に記載することが望まれる。また第1点目で述べたことに関連して、研究者等から提供された書誌情報をできる限り積極的に目録に反映させる体制の構築も望まれる。最新の書誌情報がそのままNACSIS-CATに転載できるわけではない。第2章でとりあげた『エミール』のケースでも、坂倉（2018年）で明らかになった事項がすべて登録書誌に反映されたわけではなく、目録規則等に基づいてある意味“翻訳”されて登録書誌となっているのである。このような作業は多大な労力と時間を必要とするので一般化する

のは難しいと考えるが、half-title page や errata のような情報を注記に記載したり、研究者から提供された最新の書誌情報を目録規則に沿って整理し書誌に反映させたりすることは比較的容易であるので、是非大学図書館等で実践していただきたい。

以上、書誌学的研究成果を NACSIS-CAT に登録されている書誌に現在どこまで反映させることが可能かという観点から、名古屋大学附属図書館における西洋古典籍書誌目録作成方法の実例を通じて、大学図書館等における西洋古典籍目録作成の現状と課題、及び課題解決のための提言を示した。洋の東西を問わず古典籍の目録作成は一朝一夕で終わるものではなく、長い時の中で日々更新されていくものである。日本国内で収蔵されている数多の西洋古典籍が、日本国内はもとより世界中の人々に活用されるために、少しずつでもその目録が充実していくことを願うばかりである。

最後に、シンポジウムにおける報告並びに本稿の執筆に際して、中井えり子氏（元研究開発室研究員）、小島由香氏（閲覧係長）、菊池有里子氏（図書情報係長）及び近迫仁美氏（図書情報係事務員）に多大なご協力・ご助言をいただきました。ここに深く感謝申し上げます。

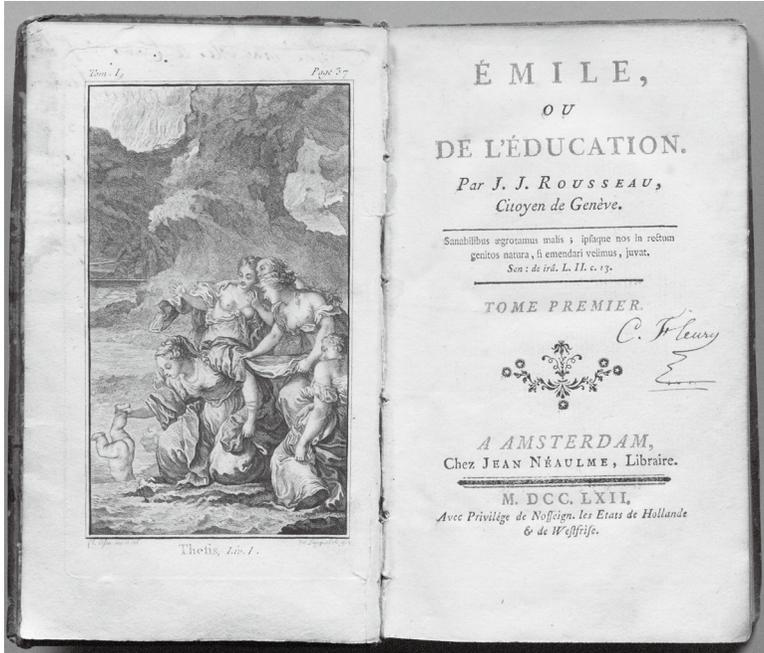


図 1. Jean Jacques, Rousseau, *Émile, ou de l'éducation*, Amsterdam: Chez Jean Néaulme (1762),
第 1 卷 標題紙

(名古屋大学附属図書館所蔵、請求記号: 371| R| |, 資料 ID: 41611960)

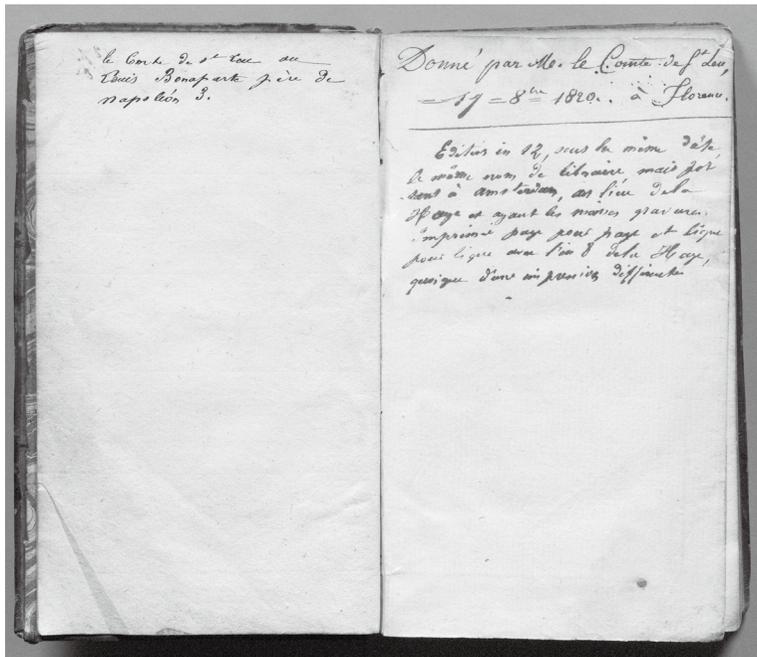


図 2. Jean Jacques, Rousseau, *Émile, ou de l'éducation*, Amsterdam: Chez Jean Néaulme (1762),
第 1 卷 遊び紙 (flyleaf) の裏面 (verso)、及び図版 (plate) の裏面 (recto) の書き込み

(名古屋大学附属図書館所蔵、請求記号: 371| R| |, 資料 ID: 41611960)

Nacsisレコード詳細リスト

日付: 2020/1/8
時間: 10:51

<BB24763154> FILE:BOOK CRTDT:20171107 RNWDT:20171215
 CRTFA:FA002407 <FA002407>
 RNWFA:FA002407 <FA002407>
 GMD: SMD: YEAR:1762 CNTRY: TTLL:fre TXTL:fre ORGL:
 REPRO:
 ISSN:
 LCCN:
 NBN:
 NDLCN:
 GPON:
 TR:Émile, ou De l'éducation / par Jean Jacques Rousseau ...
 PUB:A Amsterdam : Chez Jean Néaulme , 1762
 PHYS:4 v. ; ill. : 22 cm (12mo)
 NOTE:稀覯書につき記述対象資料毎に書誌レコード作成
 NOTE:Published by Duchesne in Paris. —McEachern
 NOTE:Titlepage in red and black
 NOTE:Title vignettes: head-pieces and tail-piece: initials
 NOTE: "Avec Privilège de Nofreign. les Etats de Hollande & de Weftrifre."
 NOTE:With half t.-p. (t. 2, t. 3 and t. 4)
 NOTE:Tome 1 : [2], viii, [2], 466 p., [2] leaves of plates; t. 2: [4], 407, [1] p., [1] leaf of plates; t. 3: [4], 384 p., [1] leaf of plates; t. 4: [4], 455, [1] p., [1] leaf of plates
 NOTE:Errors in paging: p.162 (t. 1), p.123 and 126 (t. 2), p. 364 (t. 3) and p.77 (t. 4) incorrectly numbered 126, 132, 162, 264, and 77- respectively
 NOTE:Includes indexes
 NOTE:Signatures: t. 1: pi1, 2 a[4] (a4 +1)A[12] (±A5, ±A12) B-T[12] V[6] (V6 blank); t. 2: pi[2] A-D[12] E[12] (±E11) F-H[12] I[12] (±I6) K-R[12]; t. 3: pi[2] A-P[12] (-P12) Q[12]; t. 4: pi[2] A-T[12]; A4 and B4 as \$iiij, and N6 as \$v (t. 1)
 NOTE:References: McEachern, Jo-Ann E. Rousseau, v. 2, 1B (p. [82]-86)
 NOTE:References: Dufour, no. 187
 NOTE:Inscription on t.p. (t. 1-t. 4): C. Fleury
 NOTE:Inscription on verso of flyleaf (t. 1): le comte de St Leu ou Louis Bonaparte père de Napoléon 3
 NOTE:Inscription on recto of the 1st leaf of plates(t. 1): Donné par M. le Comte de St. Leu, = 17 = 8bre [octobre]= 1820, à Florence. Edité in 12, sous la même date, le même nom de libraire, mais sortant à Amsterdam, au lieu de la Haye et ayant les mêmes graveur, imprimé page pour page et ligne pour ligne avec l'in 8 de la Haye, quoique d'une impression différente
 NOTE:Library's copy lacks "privilegie" (t. 4, V1r-V2v) and "Fautes à corriger dans les deux derniers volumes" (t. 4, V2v)
 AL:*Rousseau, Jean-Jacques, 1712-1778 <DA00157716>
 SH:LCSH:Education — Early works to 1800//K
 SH:LCSH:Rousseau, Jean-Jacques, 1712-1778. Emile//K
 <VOL>
 VOL:tome premier
 </VOL>
 <VOL>
 VOL:tome second
 </VOL>
 <VOL>
 VOL:tome troisième
 </VOL>
 <VOL>
 VOL:tome quatrième
 </VOL>
 <CC1518882965> FILE:BHOLD CRTDT:20171107 RNWDT:20171107
 BID:BB24763154 <BB24763154>
 LIB:名大 <FA002407>
 LOC:中央書
 VOL:tome premier CLN:371||R||1 RGTN:41611960 CPYR:
 LDF:
 CPYNT:
 VOL:tome second CLN:371||R||2 RGTN:41611961 CPYR:
 LDF:
 CPYNT:
 VOL:tome troisième CLN:371||R||3 RGTN:41611962 CPYR:
 LDF:
 CPYNT:
 VOL:tome quatrième CLN:371||R||4 RGTN:41611963 CPYR:
 LDF:
 CPYNT:

図 3. Jean Jacques, Rousseau, *Émile, ou de l'éducation*, Amsterdam: Chez Jean Néaulme (1762),

NACISIS レコードの詳細

(名古屋大学附属図書館所蔵、請求記号: 371||R||1, 資料 ID: 41611960)

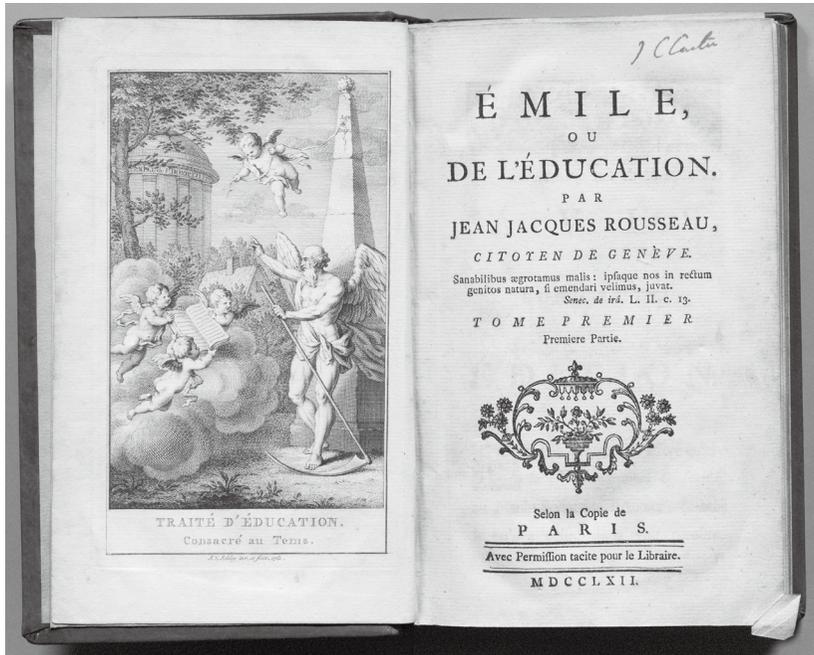


図 4. Jean Jacques, Rousseau, *Émile, ou de l'éducation*, Selon la copie de Paris : [s.n.] (1762),
第 1 卷 標題紙

(名古屋大学附属図書館所蔵、請求記号 : 371| |R| |1, 資料 ID: 41594600)

Nacsisレコード詳細リスト

日付: 2020/1/8
時間: 10:53

<BB17338669> FILE:BOOK CRTDT:20141208 RNWDT:20171221
 CRTFA:FA002407 <FA002407>
 RNWFA:FA002407 <FA002407>
 GMD: SMD: YEAR:1762 CNTRY: TTLL:fre TXTL:fre ORGL:
 REPRO:
 ISSN:
 LCCN:
 NBN:
 NDLCN:
 GPON:
 TR:Émile, ou De l'éducation / par Jean Jacques Rousseau ...
 PUB:Selon la copie de Paris : [s.n.] , 1762
 PHYS:4 pt. in 2 ; ill. : 22 cm. (8vo)
 NOTE: 稀期書につき記述対象資料毎に書誌レコード作成
 NOTE:Title vignette; initials: head-pieces: tail-pieces
 NOTE:Each title has a different vignette
 NOTE:Each part has special t.p.: t. 1, pt. 2-t. 2, pt. 2 also have half-title
 NOTE:"Avec permission tacite pour le libraire."
 NOTE:Amsterdam edition, published by Neaulme. —McEachern
 NOTE:Signatures: t. 1, pt. 1: * [2] 2* [4] A [8] (±A6) B-C [8] D [8] (±D7) E [8] (±E7) F-N [8]
 O [8] (-O3, 4+O3, 4); t. 1, pt. 2: pi [2] A-B [8] C [8] (±C5) D-G [8] H [8] (±H8) I [8] (±I6) K [8]
 L [4] M [8] N [4]; t. 2, pt. 1: pi [2] A-K [8] L [4]; t. 2, pt. 2: pi [2] A [8] B [8] (±B7) C [8]
 D [8] (±D1) E-P [8] Q [2]
 NOTE:Title vignettes; initials; head-pieces: tail-pieces
 NOTE:Tome 1, pt. 1: [4], viii, 224 p., [3] leaves of plates: t. 1, pt. 2: [4], 910 [i.e. 192] p., [1] leaf of plates: t. 2, pt. 1: [4], 168 p., [1] leaf of plates: t. 2, pt. 2: [4], 243, [1] p., [1] leaf of plates
 NOTE:Page 192 of t. 1, pt. 1 misnumbered 910
 NOTE:References: McEachern, Jo-Ann E. Rousseau, v. 2, 2 (p. [88]-95)
 NOTE:References: Dufour, no. 195
 NOTE:Includes indexes
 NOTE:Inscription on t.p. of t. 1, pt. 1: J.C. Carter
 NOTE:Inscription on half-t.p. of t. 2, pt. 1: Samuel Carter, 1849. J.C. Carter
 AL:*Rousseau, Jean-Jacques, 1712-1778 <DA00157716>
 SH:LCSH:Education — Early works to 1800//K
 SH:LCSH:Rousseau, Jean-Jacques, 1712-1778. Emile//A
 <VOL>
 VOL:tome premier, premiere partie
 </VOL>
 <VOL>
 VOL:tome premier, seconde partie
 </VOL>
 <VOL>
 VOL:tome second, premiere partie
 </VOL>
 <VOL>
 VOL:tome second, seconde partie
 </VOL>
 <CC139178858X> FILE:BHOLD CRTDT:20141208 RNWDT:20170809
 BID:BB17338669 <BB17338669>
 LIB:名大 <FA002407>
 LOC:中央責
 VOL:tome premier, premiere partie-seconde partie CLN:371|R|1 RGTN:41594600 CPYR:
 LDF:
 CPYNT:
 VOL:tome second, premiere partie-seconde partie CLN:371|R|2 RGTN:41594601 CPYR:
 LDF:
 CPYNT:

図 5. Jean Jacques, Rousseau, *Émile, ou de l'éducation*, Selon la copie de Paris : [s.n.] (1762),
 NACSIS レコードの詳細
 (名古屋大学附属図書館所蔵、請求記号 : 371| R| 1, 資料 ID: 41594600)